

葉っぱを使ってじゃんけんする。葉をよく観る。



## 4 葉っぱじゃんけん

葉っぱをまじまじと見ることはあまりないかもしれません。しかし、葉っぱをよく見てみると、いろいろな種類があり、同じ種類でも個性があります。遊びを通して、いろいろな葉っぱがあることに気づくことができるでしょう。



### ねらい

様々な視点で葉っぱをみると、いろんな種類の葉っぱがみつかるし、同じ種類の葉っぱでも個性があることを知る。あたりまえと思っているものを、よく見てみたくなる。

### 達成目標

- ・どんな葉っぱがそのあたりにあるか、三つ以上説明できるようになる。
- ・葉っぱにはどんな特徴があるか、いくつかの例を挙げて説明できるようになる。



### 導入

一人3~4枚の葉っぱをもってきもらう。拾ってくる条件はなく、自分でいいなあと思うものを拾ってきてもらう。拾ってきた葉っぱを使ってじゃんけんをすることを紹介する。じゃんけんと言ってもグー・チョキ・バーではなく、出されたお題に適したもののが勝ちということを説明する。

### 展開

お題を出す。例えば、「大きなもの」「きれいなもの」「虫食いの跡が多いもの」「たくさんの中が入っているもの」「ギザギザが多いもの」。「はっぱっぱ！」の掛け声とともに、自分の手持ちの葉っぱからお題に合ったものを出しあう。よりお題に近い葉っぱをもっている人は、そうでない人の葉っぱをもらえる。参加者同士で話し合って決める。次の回は相手を変えて実施。

### まとめ

最後に一番多く葉っぱを持っていた人に拍手。葉っぱじゃんけんをして感じたこと、葉っぱをよく見て発見したことなどを紹介し合ってみる。

### 実施のポイント

環境教育のプログラムでは勝ち負けが決まるものは原則的に扱わない。ここでは勝ち負けが目的ではない（葉っぱをよく見ることが目的）ことを確認しあおう。ずっと負け続ける人はつまらなくなるので、じょうずに声かけをしよう。

◆所要時間		20分
◆人 数		何人でも
◆関連科目		国語、算数、理科
◆焦点を当てる能力		見る、聞く、嗅ぐ、触る 探す、表現する、考える
◆準備するもの		特になし
◆安全のポイント		ウルシ類やヌルデなどかぶれる植物には注意する。

### 評価の視点

- 自分の思ったことが言えたか、相手の言うことを聞けたか。
- お題に沿って葉っぱの特徴を見つけ出すことができたか？
- 相手と話し合って結論を出せたか？

### 発展・応用

- 葉っぱに限らず、石などを素材にしても面白い。この時の掛け声は「イッシッシ」か!? その他何でも試してみよう。

### 参考文献

- オリジナル／「山のふるさと村ビジターセンター  
平成12年度環境教育活動報告書」

## 葉っぱ観察シート 4



◆ どんな葉っぱだったか書いておきましょう。 年 月 日 名前

### お題

自分の葉っぱ

相手の葉っぱ（名前）

### お題

自分の葉っぱ

相手の葉っぱ（名前）